

研究課題名：北信地域におけるがん医療の実態を把握するデータベース構築

[整理番号：臨30-21]

<対象者情報>

2010年～2017年にがんと診断され、北信地域のがん診療連携拠点病院で院内がん登録された患者さんの情報をもとにデータベースを構築し会席する研究の詳細をお知らせするために、院内及びウェブサイト上でお知らせしています。なお、この研究は金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け、金沢大学医薬保健研究域長の承認を得て行っているものです。

<研究の背景>

北陸三県に長野県を加えた北信地域は全国と比較し、15年以上進んだ超少子高齢化状態にあり、将来の日本を反映したモデル地域です。しかし北信地域では地域として医療実態の把握がなされていないという地域的医療課題があります。北信地域全体の症例・がん医療のデータベース化による医療実態の把握ができれば、県の枠を超えた戦略的がん医療対策立案が可能です。さらに、北信地域でのがん医療対策は超少子高齢化を迎えた将来の日本全体のがん医療対策にも応用できると考えられます。

<研究の意義と目的について>

本研究の目的は、北信地域のがん症例・がん医療の実態を把握するため、北信地域のがん診療連携拠点病院（平成 30 年 1 月現在で 28 施設）のうち、本研究に協力が可能な 21 病院の DPC 調査ファイル等の情報を追加した院内がん登録データを収集し、北信地域がんデータベースを構築することです。さらに、データベースの情報を高齢者がん症例、小児・AYA 世代がん症例、希少がん症例（肉腫、原発不明がん等）、甲状腺がん分子標的薬使用例、免疫チェックポイント阻害薬使用例など特色のある症例群に分類し、データを解析してその特徴を明らかにし、北信地域におけるがん医療対策の立案に活用することです。

<研究機関ならびに追加解析の対象>

金沢大学附属病院を含む北信地域の 21 施設が参加しています。

2010 年～2017 年にがんと診断され、北信地域のがん診療連携拠点病院で院内がん登録された患者さんの情報が対象です。

<研究の方法>

本研究への協力する北信4県の21のがん診療連携拠点病院の院内がん登録データ等を集め、データベース化します。本研究によって新たな受診や検査などが必要になることはありません。

<個人情報保護への配慮>

本研究で用いられる資料では個人情報は匿名化され、個人が特定されることはありません。また、個人が特定されるような情報は一切公表されません。この研究に参加するかどうかは患者様の自由であり、たとえ研究への参加を拒否された場合でも不利益を受けることは一切ありません。上記の研究対象に該当する患者様で、ご自身の情報を解析に使わないで欲しいというご希望やご質問があれば、2018年12月31日までに下記の窓口までご連絡ください。

<研究参加に伴う費用について>

本研究では院内がん登録などの医療情報のみを用いて行いますので、患者様に新たな費用が生じることはありません。

なお、この研究への協力に対しての報酬はありません。

<解析結果の開示について>

本研究では多くのがん患者さんのがん登録情報のデータベース化を行うものであり、一人広地の患者様の情報を患者様に開示することは原則ありません。

<知的財産権について>

本研究により知的財産権が発生した場合も試料を提供した方に知的財産権は発生しません。

<研究組織、研究責任者および研究分担者>

研究責任者名：矢野 聖二（腫瘍内科・教授）

主研究機関名：金沢大学がん進展制御研究所

金沢大学附属病院がんセンター

連絡先 076-265-2794